

行政評価(施策評価シート)

1 基本項目

基本目標4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策30	公園
基本方針	地域から親しまれる公園づくりを進めるとともに、だれもが安心して利用しやすい公園の維持管理に努めます。

2 指標(長期総合計画目標指標)

指標名		現状	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	目標値 (平成28年度)
指標1	市民1人当たりの公園面積	5.88 m ² (平成22年度)	5.95 m ²	5.99 m ²	6.02 m ²	6.04 m ²	6.05 m ²	5.90 m ²
指標2	公園ボランティアの人数	2,314 人 (平成22年度)	2,373 人	2,381 人	2,365 人	2,382 人	2,390 人	2,500 人

3 施策を構成する平成28年度事務事業の実施・評価結果

No	事業名	平成28年度実施結果			評価(所管課長)				指標に係る 重点事務事 業
		決算/円	予算執行 率	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	方向性	
1	公園等施設維持保全計画の推進	19,074,280	92.3%	計画どおり 完了	○	○	○	A	*
2	公園ボランティア等の支援	-	-	計画どおり 完了	○	○	○	A	*

4 施策評価

① 施策の評価

「公園等施設維持保全計画」に基づき、あさひ公園トイレ屋根の改修、武蔵野公園、ペリカン児童公園、くすのき児童公園の既設トイレを和便器から洋便器に取替えを実施するなど、公園施設の維持補修及び公園機能の充実を図り、地域から親しまれる公園づくりを推進した。

また、職員による施設や樹木等の点検のほか、公園ボランティアや地域による管理、清掃活動などを通じて、公園の維持管理を実施した。

公園ボランティアの人数は、目標値 2,500人には達していないが増加している。また、ボランティア団体との意見交換や活動内容の打合せを通じて、活動の支援を行った。

② 今後の方向性(改善への取組み等)

地域から親しまれる公園としていつまでも快適に利用してもらえるよう、「公園等施設維持保全計画」に基づき、計画的な修繕、遊具の安全管理、及び樹木等の維持管理を実施していく。

公園ボランティアとの意見交換や活動の支援を実施することで、市民との協働による公園の維持管理を効果的・有効的に実施していく。

平成28年度 【基本シート】

1.基本項目

事業名		作成部署	都市建設部			土木課
1 公園等施設維持保全計画の推進		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
01 動物公園の管理棟・外柵改修設計及び公園の洋便器取替え		平成 26 年	期間設定10年			
02 【補修工事等】公園等の施設の塗装及び補修・改修、他		平成 26 年	期間設定5年	自治事務(市独自)		○
03		平成 26 年	継続	自治事務(市独自)		
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	30	公園	事業番号 2

2.事業の概要

事業内容	公園利用者の安全性の確保及びライフサイクルコスト縮減の観点から、公園施設の適切な修繕や計画的な長寿命化対策などを推進するとともに、誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー化や健康遊具の設置を進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	効率的・効果的な計画の運用により、公園施設の長寿命化と補修に掛ける予算の平準化を図る。
------	---

4.活動指標

Plan【計画】	平成27年度(現況)	3か年計画		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業内容 事業量等	【補修工事等】 公園等施設の遊具等塗装及び補修 かめの子児童公園等	【補修工事等】 公園等の施設の塗装及び補修・改修 武蔵野公園・富士見公園・あさひ公園・やまぶき児童公園他	【補修工事等】 同左 水木公園・ペリカン児童公園・宮ノ下運動公園・動物公園他	【補修工事等】 同左 あさひ公園・栄緑地公園・くすのき児童公園・水上公園他
	水上公園施設修繕			公園雨水浸透施設設置 武蔵野公園
	富士見公園整備 駐車場、トイレ改築1棟・改修2棟 等	既設トイレの和便器から洋便器へ取替え 武蔵野公園 2基 くすのき児童公園 2基 ペリカン児童公園 2基	同左 神明台公園 1基 松原児童公園 2基	同左 やまぶき児童公園 2基 動物公園 2基
	富士見公園整備に伴いだれでもトイレ1基設置、和便器から洋便器へ取り換え4基	同左	同左	同左
公園等高木剪定	同左 動物公園管理棟・外柵改修(設計)	同左 同左(工事)		

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成27年度(現況)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	150 H	1人	80 H	1人	100 H	1人	80 H
主事・主任職	2人	40 H	2人	50 H	2人	50 H	2人	50 H

②総事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	260,273	26,906	389,719	183,634
人件費(係長職)	756	398	498	398
人件費(主任・主事職)	288	340	340	340
総事業費(合計)	261,317	27,644	390,557	184,372
国庫支出金	136,894	6,902	126,352	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	38,000	2,000	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	86,423	18,742	264,205	184,372
財源内訳(合計)	261,317	27,644	390,557	184,372

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

平成28年度 【事後評価】

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか)

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

「公園等施設維持保全計画」に基づき、あさひ公園トイレ屋根改修工事、あかしあ児童公園広場整備工事、やまぶき児童公園石山すべり台修繕工事などを実施した。
 また、武蔵野公園、ペリカン児童公園、くすのき児童公園の既設トイレを和便器から洋便器に取替えを実施するなど、市内公園の遊具塗装、修繕及び高木剪定等を実施した。
 なお、動物公園については、平成29年度及び平成30年度に管理事務所などの改修工事を行うことから、動物公園改修工事設計業務委託を実施した。

②投入実績

決算の内訳 (単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	26,906,000	▲ 6,230,000	20,676,000	19,074,280	92.3%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
「公園等施設維持保全計画」に基づき、計画的・効率的に改修工事及び修繕等を実施した。	「公園等施設維持保全計画」に基づき、計画的に改修工事や修繕等を実施し、公園施設の長寿命化等を図った。

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

⇒

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	今後の方向性
低	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	A
	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	高 [効率性]	
	D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		
		低	

Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

<p>評価(所管課長)</p> <p>公園をいつでも快適に利用してもらえよう、「公園等施設維持保全計画」に基づき、計画的な修繕、遊具の安全管理、及び樹木等の維持管理に努めていく。</p> <p>また、動物公園については、老朽化した施設(管理事務所、外柵など)について、改修工事を実施する。</p>
--

平成28年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
2 公園ボランティア等の支援		平成 15 年	継続	自治事務(市独自)	その他	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	30	公園
				事業番号		4

2.事業の概要

事業内容	研修会や意見交換会を開催し、公園ボランティアの自主的な活動を支援します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	公園ボランティアの自主的な活動により、公園の維持管理の充実を図る。
------	-----------------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成27年度(現況)	3か年計画		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業内容 事業量等	公園ボランティア活動支援	同左	同左	同左
	団体との意見交換 1回 作業打合せ 10回 登録人数2,365人	同左 2回 同左 10回 登録人数2,500人	同左 1回 登録人数2,500人	同左 1回 登録人数2,500人

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成27年度(現況)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	30 H	1人	30 H	1人	30 H	1人	30 H

②総事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	0	0	0	0
人件費(係長職)	252	249	249	249
人件費(主任・主事職)	108	102	102	102
総事業費(合計)	360	351	351	351
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	360	351	351	351
財源内訳(合計)	360	351	351	351

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行) 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

ボランティア団体と意見交換会及び活動内容の打合せを13回実施した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0	0	0	-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
ボランティア団体と作業の内容、場所、作業方法を打合せながら実施した。	ボランティア登録人数は本年度の目標値を下回ったが、公園清掃、除草、剪定などボランティア団体による自主的な活動を支援し、公園の維持管理を図ることができた。

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値
ボランティアの登録数	2,500人	2,390人

Check(評価)

◎…適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

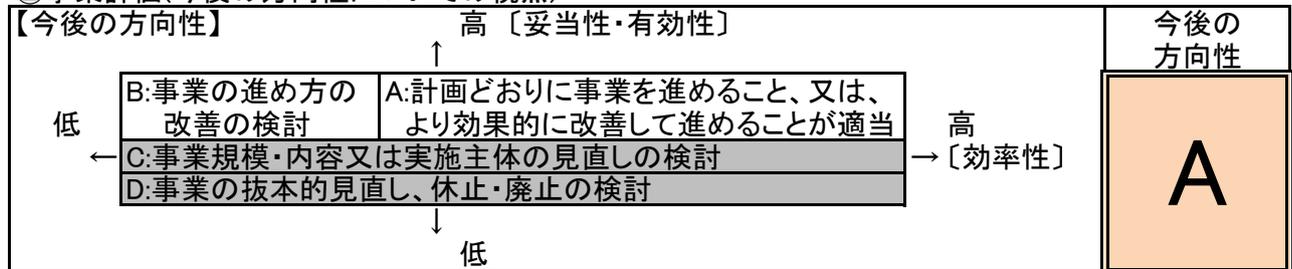
○…適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)



Action(改善)

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)
 公園ボランティア団体との意見交換や活動の支援を実施することで、公園の維持管理を効果的・有効的に実施する。